

広島県告示第千一号

森林法（昭和二十六年法律第二百四十九号）第三十三条の三において準用する同法第二十九条の規定によつて、次の保安林を指定施業要件変更予定保安林にする旨の通知を農林水産大臣から受けた。

平成二十二年十二月二十四日

広島県知事 湯 崎 英 彦

一 指定施業要件の変更に係る保安林の所在場所と指定の目的

次に掲げる告示（重要流域〔平成十二年二月二十四日農林水産省告示第二百八十三号で指定された重要流域をいう。〕に係るものに限る。）で定めるところによる。

昭和四十六年三月三十日農林省告示第七百十四号、昭和四十八年十月十八日農林省告示第千九百十七号（二に係るものに限る。）、昭和五十七年八月十八日農林水産省告示第千三百九十号、昭和五十八年七月二十日農林水産省告示第千二百十六号（二及び三に係るものに限る。）、昭和六十年七月二十日農林水産省告示第千九十九号（一に係るものに限る。）、昭和六十一年二月七日農林水産省告示第二百五号、平成元年九月二十五日農林水産省告示第千二百十五号、平成五年四月二日農林水産省告示第三百十二号（三に係るものに限る。）

二 変更に係る指定施業要件

1 立木の伐採の方法

変更しない。

2 立木の伐採の限度並びに植栽の方法・期間及び樹種

変更後の立木の伐採の限度並びに植栽の方法・期間及び樹種は、次のとおりとする。

（「次のとおり」は、省略し、その関係書類を広島県農林水産局農林整備部森林保全課及び関係市役所に備え置いて縦覧に供する。）